

アレサ・アフマダ・ノグラ 研究員（フィリピン）



はじめまして。私はフィリピンから来ましたアレサ・アフマダ・ノグラと申します。国防省(DND)・民間防衛室(OCD)の職員です。

OCD は、フィリピンにおける国家防災協議会（NDRRMC）の業務実施機関及び事務局としての機能をもっています。OCD は DND の管轄下で DND の長官は NDRRMC の議長も兼任しています。OCD は、総合的な国家防衛及び国家レベルでの防災プログラムを実施し管理することを責務とし、2020 年までに防災の中核的拠点となることを目指しています。

私の勤める OCD の地域センター は、6 つの州と 2 つの高度都市化市、117 の町、16 の市を管轄しています。管轄地域には、フィリピンにある大小 7107 の島々のうちパナイ、ギマラス、ボラカイ、ネグロス（の一部）といった主要な 4 つの島が含まれています。

現在、私は OCD 地域センター のトレーニング担当主任として働いています。そこでの主な業務は、OCD 本部が用意した防災トレーニングの実施に関し、地域防災協議会（LDRRMC）と調整を行うことです。また、西ヴィサヤ地方での防災能力向上及び強化プログラムを実施し、様々な関係者に専門的な支援を行います。

今回、日本において防災を学ぶ機会を頂いた ADRC に対しまして、ここに深い感謝を申し上げます。客員研究員として日本に滞在し、人命の保護や財産への被害軽減が日本の生活の一部となっていることを見ることができました。また、ACDR2013 や国際復興フォーラムへの参加を通じて、東日本大震災や巨大災害からの教訓について学ぶことができました。さらに、今回客員研究員として参加している他のインド、タイ、インドネシアからの研究員と災害に強い国づくりについて意見交換を行う機会を与えていただいたことに感謝します。

今回の研修で得られる経験が、私たちの子供やまたその子供達の未来のために、より安全で順応性があり、そして強いコミュニティの構築のため、OCD を通じて、ADRC と自国フィリピンに微力ながら貢献できればと思っています。